

# ノーバディーズ・パーフェクト (NP) ファシリテーター養成講座

NPO 法人 子どもの虐待防止ネットワーク石川  
〒921-8141 金沢市馬替 2-7-1

## 助成事業の概要

子どもの虐待予防には、親がアクセスしやすい支援活動であることが重要である。当団体が行っている「電話相談」やその後の母親グループ「母と子の関係を考える会 MCG ハーブの会」はそのような支援の一つであるが、「虐待」という語句がつくことからか、相談件数はそれほど増加していない。一方、虐待予防のポピュレーション・アプローチとして近年「こんにちは赤ちゃん事業」「気になる妊婦への支援」等が行われ、子育て問題状況が起こる前または発生当初や自らの子育て問題に直面化するのが難しい段階のときからの支援が行われ始めている。

NP プログラムのねらいは「託児によるレスパイトケア」「親同士のサポートティブな交流等によるエンパワーメント」「子育て経験等の共有による自分に合う子育ての考え・具体方法・あるいは自分の長所への気づきや獲得」「サポートし合う仲間づくり」にあり、このような考えを基盤とした NP プログラムは、上述の子育ての問題状況当初や自己の問題との直面化前からの予防的支援としての効果的であると思われる。

県内各地で数多く実施できるように、NP を行うファシリテーターの養成講座を開催する。

## 実施日程及び内容

平成 24 年 8 月 3 日 (土) 10:00 ~ 16:30  
8 月 4 日 (日) 10:00 ~ 16:30  
8 月 6 日 (月) 10:00 ~ 17:30  
8 月 7 日 (火) 10:00 ~ 17:00

実施場所：石川四高記念文化交流館  
多目的利用室 (金沢市広阪 2-2-5 1 階)

Nobody' perfect (NP) ファシリテーター養成講座

講師：NP-Japan マスタートレーナー 三沢直子氏

スタッフ：2 名～4 名

主催：NPO 法人 子どもの虐待防止ネットワーク石川

後援：(財) いしかわ子育て支援財団

費用：個人負担 30,000 円

## 事業の成果

石川県、福井県、富山県からの参加者全員が修了書授与した。

事前に 3 冊の教本を呼んでくるように指示があった。4 日間、トレーナー進行の元、グループに分かれて研修が始まり、1 日目は、アイスブレイキングの諸法を学ぶ。自己の学びはもちろん、他者からの気づきをもらう内容だった。2、3 日目は二人での作業となりプログラム計画を練る。その中には NP の広報も含まれ、開催にこぎつけるまでどのような方法を持ち寄るか。人が説明を聞ける時間は限られており、その中で如何に説明できるか。4 日目最終日にはプログラムを皆の前で実施する。そのためにはペアになったファシリテーターは、綿密な打ち合わせが必要で、各ペアは夜遅くまで打ち合わせをした。早朝、早めに会場入りし打ち合わせをしたペアもある。ペアは、与

えられたセッションをグループの中で再現する。実際は、打ち合わせ通りには行かないもので、全員で丁寧に振り返りをする。トレーナーからは失敗から学ぶことを何度も聞かされる。

目的達成度…参加者のアンケートから 4 日間はとても充実し、学びの多い時間だった。4 日間では足りない。いろいろな場面を実際に体験でき、失敗からも学べた。一生懸命取り組んだが十分と言いき、再度受けたい。繰り返し理解したい。共同ファシリとの関わりも大切と思った。具体的なアドバイスが助かった。参加者からの意見を価値観の違いではなくそれぞれを認め、具体的な方法へと戻す質問の仕方について学びました、しかしまだまだ経験不足ということを感じた。との感想が寄せられた。

トレーナーから「失敗から学ぶ」との指導があり、人と人のつながり方を学ぶ。プログラムを通して参加者自身が価値観と向き合うことになり、他人の価値観も尊重するという成果がある。

課題としては、保育費用をどのように確保するか。子どもと離れて語る時間の提供のため、保育の場所や保育費が必要になる。如何に確保するかが大きな課題となる。それと行政では「気になる妊婦の支援」や「産後気になる母親支援」をしているが、官民協働での児支援が大切であり、今後の解題である。

## 成果の広報、公表

石川県ではいしかわ子育て支援財団が NP の助成を 2 年間だしており、NP プログラムの開催を進めている。いしかわ子育て支援財団の広報を利用し掲載している。ホームページにリンクし、NP プログラムの有効性を知らせている。

本養成講座の修了者の中にも助成を利用してプログラムを開催した。

(平成 24 年 11 月～12 月までに 6 回)

## 今後の展開

石川県での NP の助成を利用して NP プログラムの開催を進める。次年度においても助成制度が継続するよう、当団体からも働きかけ、未実施者の終了者が開催できるよう支援する。

虐待予防の観点から NP プログラムの開催を当団体のホームページからも広報する。

その他、金沢市虐待防止事業の助成を受け修了者が NP プログラムを開催（平成 25 月～3 月までに 6 回）